

2  
赤

## 高浜町長再稼働に同意

福井老朽原発の1・2号機

運転開始からすでに40年を超え老朽化した高浜原発1、2号機（福井県高浜町）をめぐる、同町の野瀬豊町長は1日、関西電力が狙う再稼働に同意する意向を表明しました。危険極まる40年超原発の再稼働に地元町長が同意したのは初めてで、同町役場で上尾徳郎町議会議長に伝えました。杉本達治知事に近く報告します。

野瀬町長は再稼働の判断材料として、町民の理解や町議会の同意、国による原子力政策の将来像の明確化などを挙げていました。町は昨年10月に町民向け意見交換会を実施し、同11月には町議会が同意を表明していますが、このときの議会では、日本共産党の渡辺孝議員や、ほかの議員からも「町民説明会では一般町民が参加で

きないばかりか、安全性の議論のみで、再稼働についての議題はなかった」「審議が十分だ」などの発言が出ていました。

杉本知事は再稼働議論の前提として、使用済み核燃料を一時保管する中間貯蔵施設の県外候補地の提示を求めており、関電は候補地を示していません。

渡辺議員は「老朽原発を動かすことに不安をもたない町民はほとんどいない」と思います。危険な原発に頼らないまちづくりのため

に決意を新たにします」と話しています。